



## 「自産自消」のできる社会へ



私たちの身体は食べもので支えられ、

その食べものは土、つまりは自然によって育まれています。

自分の手で耕し、育て、食べる。

じさん じしょう  
「自産自消」の輪を広げ、

人と自然の関係をもっと身近に、より豊かに。





## Vision

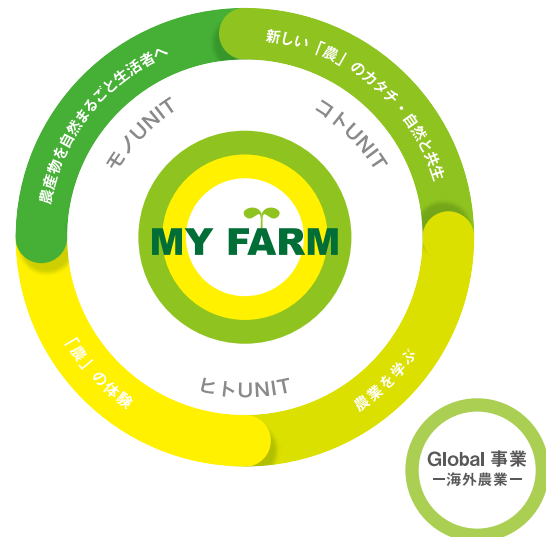
“マイファームは「自産自消」の輪を広げることで、  
人が自然を育て、自然が人を育てる未来を実現する会社です”

「自産自消」= 自分たちでつくり、自分たちで食べてみる。

この言葉に、私たちマイファームが目指す理想の社会の姿があります。  
自然に触れる楽しさ。自然と共に生き、それを仕事にすることの素晴らしさ。  
その産物を食べ、自然について語り合い、感謝すること。人が作物を育てる  
ように、人も自然に育てられていること――。

人と農の距離が遠く離れたものになりつつある今。マイファームはもう一度、  
自然の営みの中でのワクワクする気づきを呼び起こすための仕組みをつくり  
たいと考えています。農にまつわる「ヒト・コト・モノ」という側面から多面的  
に捉え、活動の一つひとつがつながり、輪となり、循環していくことで、人と  
自然の距離が近い「自産自消」のできる社会を目指します。

人と自然の距離が近づく  
自産自消の循環の輪



## Message

### 農を起点に、次世代へと続く社会をつくる

故郷・福井県三国町での家庭菜園がきっかけで、野菜づくりと植物採集に没頭する少年時代。  
その中で気づいたのは、耕作放棄地の多さや、後継者不足・高齢化による農家さんの減少、そし  
て何よりも、社会の中で農や野菜の存在があまりにもぞんざいに扱われている現実でした。  
こうした農をとりまく現状を見直し、矛盾を正したい、農業へのハードルを下げたいという思い  
から、マイファームを立ち上げました。

早く行きたいなら一人で行きなさい。遠くへ行きたいならみんなで行きなさい。  
(アフリカのことわざ)

私が大切にしているこの信念のもと、社員、スタッフ、全国にいる仲間とともに、農を起点にし  
た次世代に続く新しい社会づくりにチャレンジしていきます。

株式会社マイファーム 代表取締役

西辻 一真



西辻 一真 KAZUMA NISHITSUJI

2017年 総務省「ふるさとづくり大賞」総務大臣賞受賞  
2021年 学校法人札幌静修学園理事長 就任

1982年福井県生まれ、2006年京都大学農学部資源生物科学科卒業。幼少期から農業が好きだった、という想いのまま、  
世界中の耕作放棄地が無くなり、皆が農業を楽しめる社会  
になってほしいと会社を設立。自産自消の理念を掲げ、体験  
農業事業、アグリノベーション大学事業、流通事業、農家レ  
ストラン事業、農産物生産事業など、農業に関する多様で、  
新しい仕組みを産み出している。

# Farms & Schools

ヒトUNIT

野菜づくりを楽しむ場と機会を提供する農業サービス事業、農業を未来へつなぐ人を育成・支援する教育事業など、農に関わる「ヒト」を育てる事業です。



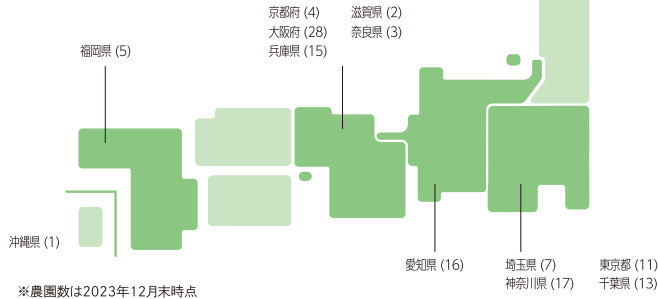
自分でつくって自分で食べる 有機無農薬の野菜づくり

## 体験農園マイファーム

耕作放棄地や遊休農地と呼ばれる“眠れる農地”をリメイクして、都心部の方でも気軽に野菜づくりを楽しむことができる「体験農園」を全国で展開しています。「農地は農地のまま残したい」と考える地域の方々の思いを大切に、笑顔あふれる場づくりが特徴。「すべての人が自分でつくって自分で食べることができる社会へ」の入口となる事業です。



体験農園マイファームは  
全国に120カ所以上!



農業から未来を考える 週末開講の農業スクール

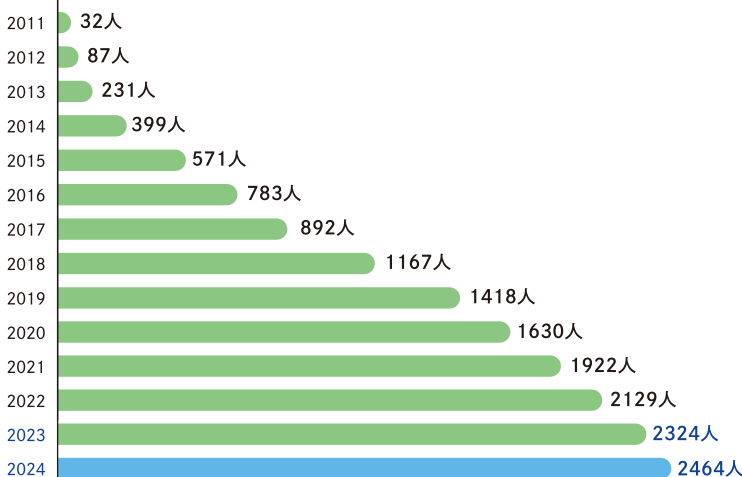
## アグリイノベーション大学校

農業を通じて、自分らしく働き、生きることを目指したい人や、仕事を続けながら週末で農業を学びたい人のための農業スクールを運営しています。「自然を読み解く力」を養う【農業技術】の講義と、「戦略を考える視点」を獲得する【農業経営】、2つのカリキュラムで構成。有機農業の原理原則を軸に、技術と経営を体系的に学べます。また、共に農業を志す仲間や講師らとの出会いは、生涯の貴重な財産になるはず。在学時から卒業後までつながる人材の輪が、農業界全体に変化をもたらしています。

入学者数 **2400人突破!**  
社会人向け、週末開講の農業スクール

入学者数の推移(累計) ※姉妹校含む

2024年8月末現在



プラットフォーム型



未活用遊休地と野菜をつくりたい人、野菜づくりを知りたい人と教えたい人、野菜づくりに関わることの全てを結ぶ次世代型マッチングプラットフォームです。

郊外+滞在型



茨城県笠間市にある笠間クラインガルデンでは、郊外における滞在型の新しい自産自消スタイルを提案しています。都心から90分の場所で「暮らしを楽しみ、豊かな循環をつくる」体験ができます。

グループ校  
姉妹校



丹波市立 農の学校

「農(みのり)の学校」は、全国初の公設民営の農業学校として2019年に開校した、兵庫県丹波市が設置し当社が運営を行う有機農業が学べる全日制農業学校です。



みらい農業学校

みらい農業学校は、福島県南相馬市が2024年4月に開校の全日制農業学校で、雇用就農の学びを強化したカリキュラムです。



学校法人札幌静修学園グループは、「札幌静修高等学校(全日制/通信制)」「アグリイノベーション大学校」からなる学園グループです。札幌静修高等学校の通信制課程では、アグリコースの運営を担っています。

その他事業

国・自治体と共に、学生・農業者・新規就農者を対象として「未来の農業を担う人材」を育てる事業を行っています。

国

農林水産省  
内閣府

国・自治体との  
連携事業

学生向け農業研修  
(農林水産省経営局補助事業)

教育

農業者向け経営塾  
(都道府県とのコラボ事業)

新規就農者向け農業塾

自治体

都道府県  
市町村



その他

就農促進支援事業  
(都道府県とのコラボ事業)

# Production & Consulting

## コトUNIT

耕作放棄地解消のための新たな営農モデルに挑戦するマイファームの直営農場や、農業技術の知見とノウハウを生かした技術支援など、農の新たな「コト」を追求する事業です。

### 耕作放棄地における新しい営農モデル

マイファームは複数地域での認定農業者を取得し、全国で営農を行っています。日本国内における生薬生産の拡大、耕作放棄地における営農モデルの確立を目指し、生産と研究開発の両輪を進めています。



生薬生産 (茨城県など)



ソーラーシェアリング



農業を通じた地域活性

### 研究開発/コンサルティング事業

様々な理由で耕作放棄地となりうる農地を維持・再生し、農業経営の新しい形を創出することを目指しています。

発電×農業の技術開発をはじめ、資材・ICT/IoTなどの技術開発支援、異業種からの参入サポートなど、自社生産・教育事業を行うからこそその強みを生かしたコンサルティングが可能です。



### 国・自治体との連携事業

国や地方自治体と連携し、農業政策の立案支援、新たな事業モデルの構築、研修、各種セミナーを開催しています。

#### 連携事業の一例

**農業を通じた地域活性** (内閣府・農林水産省・都道府県)

**農業界における女性活躍支援** (農林水産省)

**有機農業・地域農業の推進** (農林水産省)

# Distribution & Marketing

## モノUNIT

生産者と消費者を繋げる流通、国内外の自社農場での生産・販売・ブランド化など「モノ」を通じた事業です。学校卒業生の販路・就職先支援といった事業循環の役割も担います。

### モノを通して繋がりたい方へ



マイファームと繋がりのある作り手が集合した「作り手名鑑」です。作り手が想いを込めて作った商品の販売・PRをサポートし、そこに繋がりたい人・企業を「モノ」を通じて巻き込んでいきます。食べる・繋がることから自産自消をお楽しみください。

### サステイナブルな食通の方へ



神奈川県愛川町でお茶の生産・加工・販売に取り組んでいます。これまでの基盤を活かして、自社ブランドの6次産業化に挑戦をしています。



ドリアンマニアは、マイファームがマレーシアで管理、運営している園場で作ったドリアンをお届けする通販サービスです。

安全・安心のマレーシア産高級ドリアンを日本でお召し上がりいただけます。

# Global

## グローバル事業

国内で得た農業人材・技術を活用し、アジア (ベトナム・タイ・インドネシア・インド・マレーシア) とアフリカ (ケニア) 地域への海外展開を積極的に行っています。





**[本社] 京都オフィス**

〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町607番地  
辰巳ビル1階

Tel 075-746-6213 FAX 075-746-6214

JR京都駅から徒歩7分

QRコードから  
Googleマップへ



**東京オフィス**

〒108-0073 東京都港区三田2丁目14番5号  
フロイントウ三田508号室

Tel 03-6435-9675 FAX 03-6435-9676

都営三田線・浅草線「三田」駅 徒歩5分  
JR山手線「田町」駅 徒歩8分

QRコードから  
Googleマップへ



**福岡オフィス**

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東一丁目14番3号  
第2サンライト東口ビル1F Tel 092-284-0831

JR博多駅から徒歩7分

QRコードから  
Googleマップへ



**沖縄オフィス**

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地1-1-1 パレットくもじ9F

那覇空港から車・バスで約15分

モノレール「県庁前」駅 直結

QRコードから  
Googleマップへ



**宮城オフィス**

〒981-0913 宮城県仙台市青葉区昭和町1番37号 JACビル 2F

JR北仙台駅から徒歩4分

QRコードから  
Googleマップへ



# Company Information



## 会社概要

社名	株式会社マイファーム（英文表記：MY FARM Inc.）
設立日	2007年9月26日
資本金	4億9750万円
役員	代表取締役 西辻 一真 専務取締役 浪越 隆雅 取締役 石原 北斗 林 久美 瀧口 直人 監査役 谷 則男 本木賢太郎（AGRI法律会計事務所 弁護士） 末松広行（元農林水産省 農林水産事務次官）
所在地	[本社・京都オフィス] 京都府京都市下京区東塩小路町607番地 辰巳ビル1階 [東京オフィス] 東京都港区三田2丁目14番5号 フロイントウ三田508号室 [福岡オフィス] 福岡県福岡市博多区博多駅東一丁目14番3号 第2サンライト東口ビル1F [沖縄オフィス] 沖縄県那覇市久茂地1-1-1 バレットくもじ9F [宮城オフィス] 宮城県仙台市青葉区昭和町1番37号 JACビル 2F
グループ会社	株式会社静修アグリルネッサンス、合同会社アワーファーム、株式会社プレファーマ
主要株主	株式会社 T's International、株式会社ツムラ、株式会社マイナビ、自然電力株式会社、株式会社welzo、カーコンビニ倶楽部株式会社、DCMホールディングス株式会社、SBテクノロジー株式会社、前田工織株式会社、東京センチュリー株式会社、ベルグアース株式会社、尾道産業株式会社、株式会社ラプラス・システム、株式会社富山、株式会社ナンバ、全国農業協同組合連合会
その他応援を 頂いている会社	鎌倉投信株式会社
主要取引銀行	りそな銀行、京都信用金庫、京都銀行、三井住友銀行、滋賀銀行、日本政策金融公庫
主要取引先	農林水産省、内閣府、沖縄県、東京都世田谷区、兵庫県丹波市、福島県南相馬市、福島県浪江町、大阪府泉大津市、株式会社ツムラ、自然電力株式会社、株式会社マイナビ、学校法人滋慶学園、日本たばこ産業株式会社、カルビーかいつかスイーツポテト株式会社 ほか

## 受賞歴

2022年6月	公益社団法人日本青年会議所「JCI JAPAN TOYP」 農林水産大臣奨励賞受賞
2018年2月	農林水産省「未来につながる接続可能な農業推進コンクール」 有機農業・環境保全型農業部門 生産局長賞受賞
2017年1月	平成28年度・総務省「ふるさとづくり大賞」総務大臣賞受賞
2013年7月	日本河川協会・第15回日本水大賞グランプリ受賞
2010年1月	環境省・総務省等主催eco japan cup2009ビジネス部門大賞受賞

## 出版

マイファーム荒地からの挑戦：農と人をつなぐビジネスで社会を変える （西辻一真・著／学芸出版社／2012年5月）
ぼくらは働く、未来をつくる。向井理×12人のトップランナー （向井理・著／AERA編集部・編／朝日新聞出版／2014年11月）
日英対訳 農業技術の教科書：Textbook of Agricultural Science and Technology （アグリイノベーション大学校・著／一般社団法人農山漁村文化協会／2016年11月）

## 役員紹介

### 専務取締役 浪越 隆雅

1984年香川県生まれ。東京理科大学理学部卒業。2011年マイファーム入社後、複数事業の立ち上げに寄与し、現在は企業や行政を対象とした農業アドバイザー業務に幅広く携わる。

### 常勤監査役 谷 則男

1962年京都府城陽市生まれ。家業を継ぎ、湧水花卉・花壇苗・野菜苗生産の専業農家として現在に至る。全国農協青年組織協議会会長など要職を歴任し、現在は城陽市農業委員会会長を務める。

### 取締役 石原 北斗

1983年千葉県生まれ。東京農業大学大学院農学研究科修士課程修了。ケニア農村部における環境保全型害虫管理技術に関する研究に取り組む。2012年マイファーム入社。生産や営農支援、技術開発に関わるプロジェクトを統括。